



ちいさな絵本館だより

2011年4月発行

第4号

新しい世界と出会う春がやってきました！

4月と言えば、新しい環境の中に入っていく、ドキドキ、わくわくの季節ですね。でも、不安も大きくなる季節。できるだけ、ゆっくりと子どもたちを環境に慣れさせてあげたいですね。そして、保護者の皆さんにも・・・。疲れた時には、絵本館でくつろいでいただければ、幸いです。

『はるがきた』 ジーン・ジョン：文 マーガレット・ブロイ・グレアム：絵 主婦の友社

今年の日本の冬と同じで、この作品の街にも、なかなか春がやってきません。ある男の子が春を待つのではなく、街を春でいっぱいにする名案を思いつきます。この案が本当の春を呼び起こすことになるなんて、誰も思いもしないでしょう。ところが、ほんものの春がやって来るんですよ！！

『ようちえん』 ディック・ブルーナ：作 福音館書店

うさこちゃんは出てきませんが、ディック・ブルーナの作品の1つです。幼稚園つてどんなところかと、心配したり、不安に思ったり、様々な気持ちでこの時期を過ごしている子どもたちも多いでしょう。でも、幼稚園って先生は優しくて、楽しいところだよって安心させてあげられる1冊かもしれません。

『とんことり』 筒井頼子：文 林明子：絵 福音館書店

入園や入学ばかりが、新しい環境に入るのではなくて、引っ越しも子どもたちにとっても、親にとっても不安なことの1つではないでしょうか？見たことのない風景や町行く人々を見ては、ますます不安になりますよね。そんな時に、自分の存在に気付いてくれている人がいるって、なんて心強いでしょう。もう、大丈夫って感じになります！！！

『わたしようちえんにいくの』 ローレンス・アンホールット：文

キャスリーン・アンホールト：絵 文化出版局

アンナはまだ、小さくて、学校ではなく、幼稚園に行きます。そこは、楽しいことだらけ！でも、お母さんは帰ってしまうとわかると、一気に不安が募ります。お母さんのいない幼稚園で、アンナは楽しく過ごせるのでしょうか。明日も行きたいと、思えるのでしょうか？

『ピーターのとおいみち』 リー・キングマン：文 バーバラ・クーニー：絵 講談社

入学前にどうしても学校に行きたくなったピーター。そこで、大冒険に出ることにします。さてさて、どんな道のりがピーターを待っているのでしょうか？とても美しい絵の作品です。できれば、大人の私たちも誰かに読んでもらって、絵をしっかり楽しみたい作品です。